

年間固定料金制が 魅力のベッコアメ。 ただし手続きは ちと面倒かも？ 早トチリは厳禁ね。



第3回 BEKKOAME編



花粉症にめげず、いよいよBEKKOAME探検だ。

info@bekkoame.or.jp : BEKKOAMEの問い合わせ電子メールのアドレス。

今年は年が明けてからというもの、いろんなことが起こる。なんだかんだと大変だけど、なんとか無事に過ごしている私にとって、身近な問題は杉花粉の爆発的浮遊状態である。知人の中には、下を向いているとミズ（一部お見苦しい点があり伏せ字にいたしました）が垂れてくるので、上を向いてキーボードを叩いているという人まで現れる状態である。

そんななかで、杉花粉の数に劣らず(?)プロバイダーの数もどんどん増えてきている。う~む、こんなペースで「プロバイダー探検隊」を続けていたら、なかには紹介しようと思ってたら無くなってしまった、というところも出て来かねないのではないかな.....なんてことを考えていたら、よくできたもので本誌も月刊化である。メデタイ!が、締切が2倍になってしまう.....つ、辛い。しかし、読者の皆様には前にもまして最新の情報をお届けすることができると思うと、使命感に燃える私である(う~ん?)

とらわけで「今度こそはBEKKOAME?」と期待してた全国3000万人の甘党(はっきりにって根拠はない)の皆さん! かな

り時間がたってしまったが、BEKKOAMEのちょっと探検記だ。

🌀リキ入ってるぞ、BEKKOAMEのパンフ

まずは例によって雑誌の広告で電話番号をさがし出して、電話でパンフレットを申し込もう。すでにどこかのプロバイダーと契約してたり、インターネット接続しているパソコンを使える人は「info@bekkoame.or.jp」というアドレスにメールするという手もある。

これでしばらく.....たぶん1週間くらい.....待っていると(とはいっても、私の場合セッカチという性格上の問題もあって、もっと待たされた気がする)、大型封筒に入ったA4のパンフレット(といってもコピーだが)が送られてくる。中には「BEKKOAME/INTERNETサービスのご案内」という12ページ仕立てのサービス案内と某PC雑誌に掲載されたBEKKOAME/INTERNETの代表者尾崎氏のインタビュー記事のコピー(なんかアメリカの会社の

プレスキットみたい) 申し込み書と返信用封筒(なんて親切!)が入っていた。

さて、12ページの業務案内だが、これがなかなかよくできている。各サービスや用語についても、ちゃんと図解入りで説明されているから、パンフレットを取り寄せた初心者には参考になること間違いなし、とタイコバンしておこう。

最初のページはサービス紹介だから後で読むとして、「サービスのご案内」のところを読んでみると、会員の種別として「パソコン通信接続」「UUCP接続」「ダイヤルアップIP接続」「専用線IP接続」の4つのメニューが用意されている。まず「パソコン通信接続」というのは……と書いて気がついたのだが、今月号は「プロバイダー特集」だったのではないかとすれば、別のページにインターネットへの接続の種類とか説明が書いてあるはずだから……う～ん、ま、ここは簡単にすませてもいいワケね?

というわけで、目を引くところをチェックしていこう。

パンフレットによれば、同社は「インターネット研究組織から発足した」プロバイダーであり、「10年間に渡る研究活動の中で培った、管理・運営の技術ノウハウや、トラブル対応力、ネットワーク・システム構築の実績」があるとのこと。ふむふむ、なかなかタノモしいんではないかい?でもって「長い期間の運営上で蓄積された、効果的な運用に関しても、その経験を反映させた付帯サービスをご提供しております」ということで(なんか日本語がヘンだけど)「ユーザに対して無料で公開しているインターネットBBSを用意し<中略>ご利用いただいています」となっている。

ふ～む、これは前回取り上げたRIMNETと同じだな。最近のプロバイダーのカスタマーサポートというのは、この手の合理化策というか、こういう形でやるのが流行なんだろうか?確かに、価格で勝負ということになると、人員削減というのが重点配備みたいなことが大事だから、納得できる方向ではあるけど……ま、実際にどう効果的に使われているか、見てみないと……後でチ

ェックしてみよう。

さらに「弊社ランチ内において、24時間のネットワークの有人監視など、通信事業者としてクオリティの高いサービス」を常に追求している、とのこと。って、つまり滅多なことじゃマシンは落ちない……と、いうのを保証しているわけじゃなくて、落ちたらちゃんと速く立ちあげますということなんだろうな。しかし、考えてみると1日24時間、ネットワークの監視をやってる人がいる、というのは何だか不思議な感じだな～。

BEKKOAME/INTERNETがこのほかに提供しているサービスとしては、パーソナルMOSAIC登録サービス(これは無料で自分の作ったHTMLファイルをサーバーに置いてくれるものらしい)や、WWWサーバー構築サービス、パーソナルBBS開局サービス、ネットワーク構築コンサルティングなどがあげられている。

ふ～む、なかなかいいんじゃない?特にパーソナルMOSAIC登録サービスが無料っていうことは、自分で適当に作ったHTMLファイルをタダで世界中に見てもらえる(っつーとオーバーだけど嘘ではない)わけで、これまでは「ダイヤルアップなんかやっても、自分のページ持てないからな～。やっぱ専用線引いて自分でサーバー持たないとインターネットの世界じゃ一前じゃないってことかな?」なんて考えてたけど、グーじゃないっすか?今のところ、自分の名刺にE-Mailのアドレスを入れるのがカッコいいみたいな感じだけど、そのうち「いや～、やっぱ自分でホームページ持って、名刺にURL入れとかないとね」なんつーことになったりして……とミーハーサーファーとしては妄想で頭が膨らむのであった。

🌀 なんと1日55円?

このほかにも面白そうなサービスはたくさんあるが、ここは「プロバイダー特集」のほうにまかせておいて、アクセスランチのところを見ると、よしよし、ちゃんと



電話でたのんでから1週間ほどでパンフレットが届いた。



無料で自分のWWWホームページが持てるぞ。

パーソナルMOSAIC登録サービス: BEKKOAMEがやっている個人のWWWホームページを置かせてくれるサービス。

HTMLファイル: WWWを記述するHTMLという言葉で書いたファイル。ここではWWWのホームページのことをいっている。

専用線: プロバイダーと利用者の間を公衆回線で間欠的に結ぶのではなく、24時間接続したままの回線で接続すること。専用線で接続すれば、継続的に同じIPアドレスを割り当てられるので、WWWサーバーなどを設置できる。

URL: Uniform Resource Locatorsの略。インターネット上のアドレスを統一して表記する方法で、たとえばWWWならhttp://……、FTPならftp://……となる。

アクセスランチ: プロバイダーが各地にしている接続ポイント。利用者には、ここに電話をかけて接続する。noc、アクセスポイントなどとも呼ばれる。



年会費20,000円ということは、ひと月1666円、1日55円。これは安いぞ。



申し込み書を送ってから10日ほどで、仮IDとパスワードが届いた。

ドメイン名：インターネットに接続されたコンピュータのグループをあらわす名前。通常、会社や会社内の組織を表す。

INS64が東京・横浜などに用意されている。いくらアナログ回線で28800bpsが使えるとかいわれてもね～、ノイズもあるしさ……。

先月までの苦い経験をついと思い出ししてしまう私である。

さてさて次は問題の料金をチェックだ。利用料金表によれば、「パソコン通信接続、UUCP接続、ダイヤルアップIP接続」とともに「初回登録費用 = 10,000円」、「年会費 = 20,000円」で「年会費以外の、月単位や、アクセス時間単位などの稼金（原文のまま）は一切ありません」とはっきり書いてある。おお、これはいいぞ！ なんとって年間2万円ってことは、1カ月当たり1666円、1カ月30日とすると、なんと1日55円（いずれも小数点以下切捨て……おいおい）で使い放題ってことになる。もうさっぱり初回登録費用と電話料金のことは忘れていた私である。

さらに、「上記サービスを同時に複数申し込まれる場合は、1サービス追加につき、年会費が10,000円増となります」ということだから、例えばUUCP接続とダイヤルアップIP接続を同時に申し込んで年間3万円……これはおいしいかも？ というのは、ダイヤルアップIPでE-MailだとかNetNewsなんかを見てると、どんどん時間がたっちゃう。その間、しっかり課金されてたりすると、結構な金額になるわけよね。だから、ウェブ系はダイヤルアップじゃないと無理としても、それ以外をUUCP系で……というのが賢いのかも知れない。う～ん、これってアタマイいかもしれない……と考えてしまう。

◎ 仮IDで本チャンID設定

結局、今回もやっぱりダイヤルアップIPだけにすることにして、「ご契約申し込み書」に挑戦。とはいっても、これが気抜けしてしまうほど簡単。名前、住所、生年月日、電話とFAX、「お申し込みサービス品目」、「通信に用いる（予定の）コンピュータ名」と「現在、お持ちの環境でパソコン通信はできますか？」という質問に答える

だけ。これならウドにもできそう。あ、もちろん印鑑を押す場所があるので、これだけは忘れないように……。

必要事項を記入して、同封の封筒（さすがに切手は貼ってないぞ）に入れて返送。そして待つことおよそ10日間（これが一番問題だよ～。もちょっと早くしてくれると文句ないんだけどな～）ある日家に戻ってくると「お待ち～」のBEKKOAMEからの封筒が！

中には「ユーザー名、パスワード、ドメイン名の設定」と「設定方法の手順」、「ご入金先」について書いてある紙と請求書が入っている。まずは「ユーザー名……」の項目を見てみると、「24時間お気軽に設定いただける」「パソコン通信による完全無人設定」のためのBBSのお知らせが……。

でも、ちゃんと問い合わせ用の電話番号も書いてある。よしよし。

さて、これは後で分かってくるのだが、ダイヤルアップIP接続のユーザーに対して、BEKKOAMEではドメイン名をユーザーの星座名にするように推奨（決して強制ではないようだ）して、BBSでは同じ星座で同じユーザー名の人がないように自動チェックするのだ。水瓶座生まれの場合は「murano@aquarius.bekkoame.or.jp」ということになる。ふ～ん、ちょっとオシャレじゃん……とは思いますが、自分の星座のちゃんとした英語名ってのを知っている人って多いんだろうか？ 余談だが、UUCP接続のユーザーの場合は、ドメイン名を適当なものにできるように、例えば「tottemo@oishii.bekkoame.or.jp」なんてのもいいみたい（マジ？）。

さて、続いて読んでみると「実運用は、ここでお決めいただいたユーザー名、パスワード、ドメイン名を用いて、ご入金確認後約1週間程度で開始することができます。

ですので、ご入金をすまされましてから少なくとも1週間以内に、ユーザー名、パスワード、ドメイン名を決定、登録しておいてください。（この設定作業は、ご入金に関係なくただちに開始することができます）」とある。

なんだかちょっと混乱するが、「要するにここでいろいろ設定して、翌日にでも振り込みをしておけばいいだろう」と理解してしまうことになって、「設定方法の手順」に書かれている仮IDと仮パスワードを使って登録用のBBSにアクセスすることにした。

🌀 お知らせはちゃんと読むべし

設定方法の手順に従ってBBSの中に入って、一通り内容を読む。

契約したサービスの確認の後、環境設定に入り「必ずお読みください」を読んでみると、ユーザー名、パスワード、ドメイン名などについての説明があった後……

この登録は、最初の登録日時から、48時間後に自動的にBBSアカウントとして本登録されます。(ご入金確認とは無関係に行なわれます)

<中略>

ユーザ名などが本登録された後は、(ご入金をされていないとも)本登録されたユーザ名とパスワードを使って、BBSに対してログインすることができます。逆に、仮ユーザ名や仮パスワードは消滅します。

それ以後は、ご入金確認後、システム管理局側のネームサーバーへの登録作業や、コミュニケーション・サーバーへの登録作業の終了を待って、ダイヤルアップIP接続の実運用となります。

……ということだから、この間にBBSでいろいろとインターネットの利用方法について勉強することができる(ただし、48時間以内であれば仮IDと仮パスワードを利用し、それ以降は先ほど自分で決めたIDとパスワードを使うことになる)というわけだ。さて、もう1つ重要な部分がある。

なお、ダイヤルアップIP接続などの実運用開始のご案内、および諸設定に必要な情報は、ご入金確認後約7日でBBS上でメールにてアナウンスされます。

つまり、自分のアカウントが実運用になったかどうか(このBBS以外のIP接続が可能かどうか)というのは、振り込みしてからちよくちよくこのBBSにやってきて、センター側からメールが来てないかどうかを確認しないと分からない、ということである。ここんとこを忘れると結構辛い思いをしてしまう。

かくエラソーなことをいっている私であるが、ここんとこを見逃してしまい、「こんちはパンフレットもちゃんと送ってきたから、今度も郵政省メールで連絡してくれるだろう」なんて思い込んでいたために、友人から「BEKKOAMEってまだつながらないの〜?」なんていわれ続けて、「いやあ、あそこって手続きが遅いみたいよ」なんつ〜失礼なことをいれ続けておったという……まったく反省モノである。

🌀 銀行振り込みにも、ちと注意

設定が終われば次は振り込みだが、ここでもちょっと注意しないとまずいことがある。

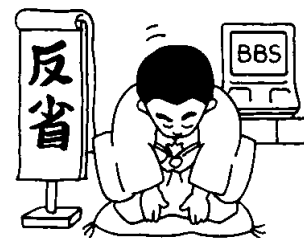
「お振込みの際は、送金者名の後に続けて、必ず、お客様の仮ユーザー名を併記くださいませよう」とのこと。しっかり「キャッシュカードによるお振り込みは、仮ユーザー名を併記できませんので、現金振込みにてお願いいたします」と書いてあるので、ちゃんと自分の仮ユーザー名(私の場合は5桁の数字だった。こんなんで大丈夫かなとは思うが……)を自分の名前の後に付けて振り込んだ。

さあ、後は実運用のメールを待つばかりだ。前に書いたように、お馬鹿な私は「まだかな〜」と毎日家に帰ってくるたびに郵政省メールボックスをのぞいていたのだが、ある日、同じころに申し込みをした友人から「メールが来てたよ〜」という電話をもらい、あわててBBSにアクセスしたところ、来てましたヨ、「ご利用のご案内」が!

このメールには、ダイヤルアップIP接続のアクセス回線番号やドメイン名、E-Mailアドレスなどとともに、BEKKOAME/INTERNET側のサーバーアドレス、ネー

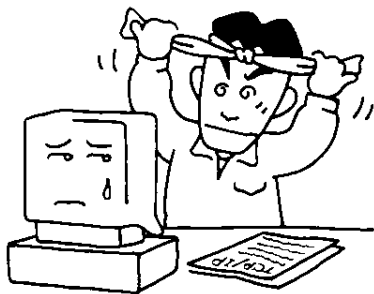


BBSでユーザー名、パスワード、ドメイン名を設定したら、銀行に行ってお金を振り込む。



実運用開始は郵政省メールでくと早トチリし、失礼な言動があったことをお詫びします。

サーバーアドレス：ネームサーバー、メールサーバー、ニュースサーバーなどのアドレスのこと。



メールには、TCP/IPドライバーの設定方法などが書かれているので、プリントしておこう。

FAQ：Frequently Asked Questionの略。よく聞かれる初歩的な質問をまとめ、それに答えをつけたもの。

Class：IPアドレスのClassのこと。ネットワークに接続できるコンピュータの数によって、AからCまである。

Default：MacTCPのDomain Name Server Information設定画面にあるラジオボタン。複数のドメイン名情報を入力したときに設定する。

CTS&RTS (DTR)：モデムとデータのやりとりをするとき、その流れを制御する方法の1つ。

ム情報などがきちんと書いてある。前に書いたように、最初に届けられるドメイン名はダイヤルアップIP接続の場合、「ppp.bekkoame.or.jp」となっていて、「星座による割り振りをお勧めします」ということだが、なんか星座の綴りを覚えるのも面倒(なんつ～怠惰なやつ!)なので、このままていくことにする。

サーバーのアドレスも分かったので、早速MacPPPとかの設定を……とは思ったが、この際だからBBSの中身をちょっと見ることにする。

☉ BBSの「FAQ」はいまいちだ

メニューは「BEKKOAME/INTERNETからのお知らせ」「目安箱」「インターネット」「おすすめボード」「パーソナルMOSAICの広場」「ソフトウェア」「フリートーク」「コンピュータ」という具合に分かれている。とりあえず、いろいろのぞいてみると、初心者が苦労さんたる有り様をいろいろ書いている。それに親切にフォローしている人もいるという具合で、まあ、これはどこでも同じだ。

アクセスポイントも、震災の影響とかで遅れたこともあったようだが、とりあえずISDN回線増加の傾向が見えて、よろこばしい。

問題だと思ったのは「インターネット」の下にある「インターネットFAQ集」というやつ。私が思うに、「FAQ」というのは「初心者の誰もが経験するような疑問に対するお答え」というやつを誰もが簡単に、しかもケースごとにまとめておかないと役にたたないんじゃないの? で、実際はどうかというと、まるで普通の「Q&A」みたいになって、しかも「 が分かりません」とか「動きません」とかいう疑問にシステム管理者側が応えきれてないと、「わたしも同じだよ」とか「それはおかしいですね」とか、同調するユーザーがコメントを付けてきて大混乱。うーん、これはどうかねー。別に「インターネット・ビギナーコーナー」というのもあって、ここでも同じようなメッセージが交換されているからややこしい。

やっぱしここんところは、大変かもしれないけど、システム側が強権を発動して「FAQ」については書き込み禁止にしちゃって、「目安箱」だとか「ビギナーコーナー」みたいなところに寄せられた質問についての回答を編集するとか、ちゃんとやらないと駄目かもなんじゃないかな～。まあ、手間がかかるのは分かるし、ユーザーサポートの人にはご同情申し上げちゃうけど、システムを作らないと、いつまでたっても同じ質問がくるのは分かってるわけだからねえ……なんちて、エラソーなこといえたもんじゃない私ではある。

☉ ユーザー制作のホームページに注目だ

とりあえず必要な情報は全部分かったので、メールをプリントアウトしてから設定にかかることにする。

いつもと同じように、まずはMacTCPの設定。これは先月も説明したけど、「More」のところをクリックすると出てくるウィンドウ【図1】で「Server」のラジオボタンを設定し、「Class」は「C」、「Domain Name Server Information」の下にある「Domain」に「ppp.bekkoame.or.jp」と入れる。「IP Address」は「202.11.252.2」だ。ここを「Default」にしておく。

次に「Config PPP」の設定。これは最初のウィンドウ【図2】では「PPP Server Name」に「Bekkoame」とタイプし、「Port Speed」はINS64の場合「38400」、「Flow Control」は「CTS & RTS (DTR)」にして、「Tone」か「Pulse」は自分の電話回線に合わせて設定する。電話番号も最寄りのアクセス回線番号を入力し、「Modem connect timeout」はここで設定した数字より若干長めに設定したほうがよいんじゃないかと思う。

さて、前回のRIMNETの設定では「Authentication…」をさわらずに「Connect Script…」をクリックして入力したが、今回はその逆。「Authentication…」をクリックすると別のウィンドウ【図3】が

開く。

ここで「Auth. ID」には自分のIDを、「Password」にはパスワードを入力する。「Retries」は10くらい、タイムアウトは図の数字より、もっと長めのほうが安全だ。これが設定し終わったら「OK」をクリックして、ドライバ関係の設定はオシマイ、ということになる。

このほかのアプリケーションの設定としては、Eudora-Jの設定で必要になる「POP/SMTPサーバー名」は「ppp.bekkoame.or.jp」、ニュースリーダーの設定で必要になる「NNTP(News)サーバー名」は「nntp.bekkoame.or.jp」とい

う具合だ。

最後に日本語表示ができるウェブのブラウザが手に入ったら「DeleGateサーバー」を「delegate.bekkoame.or.jp:10080」と設定して「www.bekkoame.or.jp」にアクセスしてみよう。ユーザーの手によるホームページがずらっと並んで、内容は千差万別だけど「見るだけじゃ楽しくないぞぉ～」という雰囲気は伝わってくる。最近はいろんなプロバイダーがユーザーにWWWのホームページを提供するようになっているので、今後の展開が楽しみ！ ということで、来月はマッチベターのココロだ。

Eudora-J : Macintoshで多く使われている電子メールソフト。日本語が使用できる。

POP/SMTPサーバー : POPサーバーは、遠距離からアクセスしてメールを読むときにアクセスするサーバー。SMTPサーバーは、メールを送信するときにアクセスするサーバー。POPおよびSMTPはそのときに使うプロトコルの名前。

NNTP (News)サーバー : NetNewsの記事を提供するサーバー。NNTPサーバーに問い合わせるとNetNewsの記事を入手できる。

DeleGateサーバー : WWWサーバーとWWWクライアント間で、漢字コードの変換をするサーバーのこと。WindowsやMacintoshのクライアントのときに使用する。

図1

Obtain Address:
 Manually
 Server
 Dynamically

Routing Information:
Gateway Address:
202.255.181.7

IP Address:
Class: Address: 192.0.0.0
Subnet Mask: 255.255.255.0

Net | Subnet | Node
Bits: 24 | 0 | 8

Net: Lock
Subnet: Lock
Node: Lock

Domain Name Server Information:
Domain IP Address Default

ppp.bekkoame.or.jp	202.11.252.2	<input checked="" type="radio"/>
		<input type="radio"/>

OK Cancel



図2

PPP Server Name:

Port Speed:

Flow Control:

Tone Dial Pulse Dial

Phone num:

Modem Init:

Modem connect timeout: seconds

Connect Script... LCP Options... Done
Authentication... IPCP Options...

上の電話番号はISDNの場合です。

図3

Note: The password and id fields may be left blank to indicate that they are to be entered at connect time.

Auth. ID:

Password:

Retries: Timeout: seconds

Cancel OK



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp